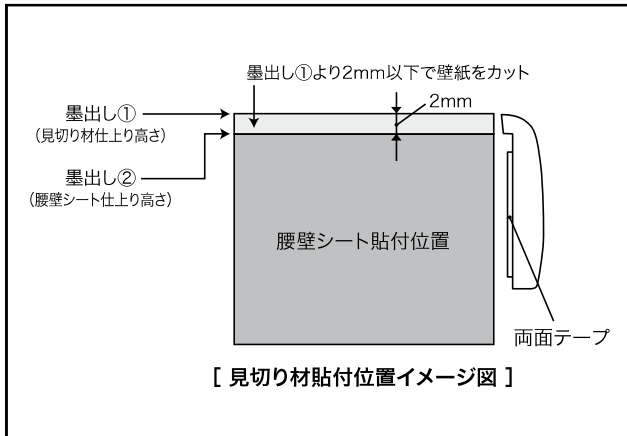


腰壁シート 施工説明

■基本手順



4.見切り材の貼り付け

- ①出隅材、入隅材を貼り付けます。
墨出し①に沿って各部材を貼り付けてください。^{※1}必ずペンリダイン瞬間ゼリー(BB-589)を塗布し、補強してください。
- ②見切り材(2000mm)を必要な寸法に正確にカットし、上記と同様に貼り付けます。ペンリダイン瞬間ゼリー(BB-589)は200mm～300mm間隔で塗布して接着してください。
※必ず、ローラーで圧着して固定してください。圧着が不足すると見切り材の剥がれ、隙間の発生に繋がります。
- ③見切り材同士の継ぎ目(断面部)にもペンリダイン瞬間ゼリー(BB-589)を塗布して接着してください。
- ④必要に応じてエンド材を貼り付けます。施工方法は見切り材と同様です。
※見切り材(4.5mm厚)が建具等よりも厚い場合などは、見切り材の断面を隠すためエンド材を使用します。また、半載することで左右でご使用いただけます。

1.下地の確認・補修

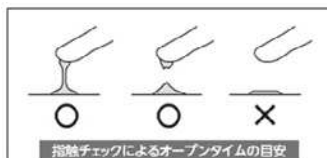
腰壁シートの厚みは1.1mmと薄いため、下地の不陸等の不具合があると、その部分がシート表面に発現します。
必ず下地にパテ処理等を行い、平滑な状態で施工してください。

2.墨出し

- ①見切り材の仕上がり高さ(見切り材の上部位置)を設定し、墨をうってください(上図:墨出し①)。
※施工後に拭き取れるようチョークリールをご使用ください。
- ②墨出し①の2mm下(=腰壁シートの仕上がり高さ)の位置へ水平に墨をうってください(上図:墨出し②)。
- ③壁紙が貼られている場合、見切り材の仕上がり高さ(墨出し①)より2mm以下で壁紙をカットし、裏打ち紙まで剥がしてください。

3.腰壁シートの貼り付け

- ①AR(BB-516・517)、PC-2(BB-576・577)を付属のヘラを用い、腰壁シートを貼り付ける壁面全体に塗布してください。
- ②墨出し線に合せ、シートを貼り付けてください。
- ③オープントイムは、気温や湿度条件によりタック発現時間が異なります。必ず指触による確認を行ってください。
- ④腰壁シートの厚みは1.1mmと薄いため、オープントイムを取り過ぎると、接着剤のくし目跡が凹凸の原因になり、シート表面に発現する恐れがあります。
- ⑤墨出し線②に合わせ、シートを貼り付けてください。
- ⑥巾木は、腰壁シートの上から貼り付けるため、腰壁シートは床まで施工してください。
- ⑦必ずスキージ・ローラー・しごき棒等で確実にエア抜きを行いながら、貼り付けてください。
- ⑧腰壁シートのジョイントは原則、入隅以外で行わないようにしてください。やむを得ず入隅以外でジョイントを行った場合には、重ね切りで処理してください。また、シートの継ぎ目処理は、パーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)を注入してください。
※重ね切りを行う場合は、下地を傷めないよう必ず下敷きをご使用ください。



5.コーナー材の貼り付け

- ①出隅材、入隅材の下部から床面までの長さを正確に測り、コーナー材をカットしてください。
- ②片方の剥離紙を剥がしてから、位置を決め、腰壁シート面にコーナー材の片側を貼り付けた後、もう片方の剥離紙を剥がし、隙間のないように十分に圧着してください。貼り付けたコーナー材の端部の浮きは、ペンリダイン瞬間ゼリー(BB-589)を塗布して接着してください。

6.巾木の貼り付け

巾木糊(BB-560・561)、WH(BB-606・607・608)を専用ヘラまたは巾木用樹脂ヘラを使用して施工個所に塗布し、オープントイムを取って貼り付け、よく圧着してください。接着剤のはみ出しには注意してください。